



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：新政権樹立に向けた各派の動き

(2日付現地各紙)

2日付現地各紙は、各派の動きについて報じている。

1. INA（現地各紙）

(1) 1日、アンマール・ハキーム ISCI 党首の事務所において、アブドウルマハディー副大統領、ジャアファリー元首相、チャラビー元副首相の中から、INA の次期首相候補を選定するため、会合が開催され、満場一致でアブドウルマハディー副大統領を次期首相候補とすることが合意された。

(2) ジャアファリー元首相率いる国民改革潮流の要求により、INA の次期首相候補の発表は延期されることとなった。近い筋によれば、サーレハ・ファイヤード国民改革潮流副代表とクサイ・スヘイル・サドル派副代表との間で、首相候補の選定メカニズムについて論争が生じたようである。

2. イラーキーヤ（サバーハ紙）

(1) マイスーン・ダメルジー・イラーキーヤ報道官は、アッラーウィー元イラク首相とサーレハ・ムトラク国民対話イラン戦線代表との対立の存在を否定した。

(2) イラーキーヤのカーゼム・シャンマリー議員は、タラール・ゾオバイー議員を代表とし、30名の議員からなる新しい政治ブロック「中道国民潮流 (Moderate National Current)」の設立を発表した。

(3) 一方、オサーマ・ヌジャイフィー・イラーキユーン代表は、自派から大量の議員が脱退したという報道を否定し、同派が完全な形を取っており、同派内の議員の関係は良好であると強調した。